

動物用医薬品 要指示

合成抗菌・抗原虫剤

エクテシン[®]散

Ektecin[®] Powder

エクテシン散は、スルファモノメトキシ水合物とオルメトプリムとの相乗作用により、各種の鶏コクシジウム原虫及び鶏ロイコチトゾーン原虫に対して、すぐれた抗原虫力を発揮します。また、病原性大腸菌、ボルデテラ・ブロンヒセプチカ、アクチノバシラス・プルロニューモニエ、パスツレラ・マルトシダやヘモフィルス・パラガリナリムに対しても、すぐれた抗菌力を発揮します。

〔成分・分量〕

エクテシン散は、100 g 中下記の成分を含有する。

スルファモノメトキシ水合物…………… 3 g

オルメトプリム…………… 1 g

〔効能・効果〕

豚：大腸菌性下痢症，萎縮性鼻炎，細菌性肺炎

鶏：コクシジウム病，伝染性コリーザ，ロイコチトゾーン病の予防

〔用法・用量〕

豚：

〔大腸菌性下痢症〕

飼料中に本剤を0.5～0.6%の割合で均一に混合し，3～5日間投与する。

〔萎縮性鼻炎〕

飼料1 t 当たり下記の量を均一に混じて経口投与する。

4,000～6,000 g (ただし，1週間投与しこれを間歇的に行う。)

〔細菌性肺炎〕

飼料1 t 当たり下記の量を均一に混じて，5日間経口投与する。

4,000～6,000 g

鶏：

〔コクシジウム病〕

飼料中に本剤を0.5～1%の割合で均一に混合し，3～5日間連続または間歇的に投与する。

〔伝染性コリーザ〕

飼料中に本剤を1%の割合で均一に混合し，3～4日間投与する。

〔ロイコチトゾーン病の予防〕

飼料中に本剤を0.05～0.06%の割合で均一に混合し，7日間投薬，7日間休薬を1クールとして，感染期間繰り返し投与する。

〔使用上の注意〕

【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は，効能・効果において定められた適応症の治療（予防）にのみ使用すること。

- (3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- (5) 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

【使用者に対する注意】

- (1) 本剤を誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- (2) 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意すること。

【対象動物に対する注意】

1 制限事項

- (1) 本剤を萎縮性鼻炎に使用する場合は、使用法の細部にわたって獣医師の指導をうけること。
- (2) 産卵鶏（食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう）には本剤を投与しないこと。

【取り扱い上の注意】

- (1) 本剤を鶏口イコチトゾーン病に使用する場合、あらかじめ少量の飼料等で予備混合し、所定の飼料に均一に混ぜて投与すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かない適切な場所に保管すること。
- (2) 直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。

注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、豚、鶏（産卵鶏を除く。）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚：食用に供するためにと殺する前5日間

鶏（産卵鶏を除く。）：食用に供するためにと殺する前5日間

有効期間：3年（使用の期限は外装に記載）

〔 包 装 〕

エクテシン散

20kg（1kg×20分包）

製造販売元



Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

製造元



第一ファインケミカル株式会社

富山県高岡市長慶寺530番地

(2011年4月改訂)

700-A8